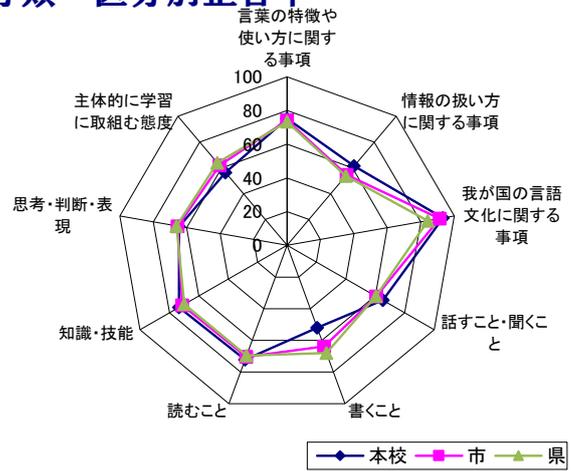


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	75.2	74.2	73.3
	情報の扱い方にに関する事項	61.4	54.7	53.8
	我が国の言語文化に関する事項	93.2	91.2	84.2
	話すこと・聞くこと	65.2	60.6	60.4
	書くこと	52.0	63.8	68.0
	読むこと	72.2	70.4	69.6
観点	知識・技能	73.5	71.3	69.9
	思考・判断・表現	64.5	65.4	66.1
	主体的に学習に取り組む態度	56.4	61.9	64.0



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	<p>○言葉の特徴や使い方にに関する事項の平均正答率は75.2%で県より1.9ポイント上回っている。特に「連体修飾語の理解」は県を8.6ポイント上回った。</p> <p>●「第4学年に配当されている漢字を正しく書いている」の正答率は、県より20ポイント上回ったものもあるが、5ポイント下回ったものもある。「連用修飾語の理解」については、県をわずかに下回った。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・漢字の読み書きについては、漢字スキルなどを活用し、正しい文字を見ながら継続して練習させるようにする。</p> <p>・連用修飾語の働きについて、様々な文例を用いて、理解させるようにする。</p>
情報の扱い方にに関する事項	<p>○情報の扱い方にに関する事項の平均正答率は61.4%で県より7.6ポイント上回っている。</p> <p>○すべての設問について正答率は県を上回っており、特に「情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話している」(記述式)では、県を10.8ポイント上回った。</p>	<p>・授業の中でも辞書を使う場を設定したり、教室の学級文庫に辞書を置いたりして、語句の意味をすぐに調べられる環境をつくる。</p> <p>・文章や会話から必要な情報を読み取ったり聞き取ったりする力を高めるために、注意を傾けて読む・聞く態度の育成を図るようにする。</p> <p>・授業の中で、「理由」や「事例」にあたる内容を意識して読んだり聞いたりできる場を設ける。</p>
我が国の言語文化に関する事項	<p>○我が国の言語文化に関する事項の正答率は93.2%で、県よりも9ポイント上回っている。</p>	<p>・ことわざの意味を確認したり、短文を作ったりしながら理解させるようにする。</p> <p>・古典の一部を声に出して読んだり暗唱したりさせ、日本語のもつ言葉のリズムを感じ取らせながら、関心や理解を深められるように指導する。</p>
話すこと・聞くこと	<p>○話すこと・聞くことの平均正答率は65.2%で県よりも4.8ポイント上回っている。特に、「話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている」の正答率では、県を9.3ポイント上回った。</p>	<p>・いろいろなテーマや話し方のパターン、条件付きスピーチなどで、話し方に慣れていくようにする。</p> <p>・改まった場での話し方に慣れて、聞き手に伝えるために必要なことを満たして話す練習をさせる。</p> <p>・聞くことについても繰り返し指導する。(相手を見て、最後まで、耳と目と心で聞く)</p>
書くこと	<p>●書くこと平均正答率は52.0%で県よりも16ポイント下回っている。特に「指定された長さで文章を書いている」の正答率の内訳は、「7行～9行」について20.2ポイント、「2段落構成」について14.8ポイント下回った。</p> <p>●「読み取ったことを書く」の平均正答率は県を17.6ポイント下回り、「自分の考えを書く」は11.5ポイント下回った。</p>	<p>・いくつかの条件を与えて、それらを満たして書く学習を取り入れ、「書くこと」への抵抗を少なくし、回を重ねて指導をしていく。(字数・制限時間・段落の数・内容の条件)</p> <p>・読み取ったことを書き言葉にして文章に表す練習をさせる。</p> <p>・話し言葉と書き言葉の共通点や差異について指導する。</p> <p>・表記上のきまりについて復習する機会を設け、正しく表記できる力を高めさせる。</p>
読むこと	<p>○読むこと平均正答率は72.2%で県よりも2.6ポイント上回っている。</p> <p>○「説明文の内容を読み取る」については、すべての項目で県を上回った。</p> <p>●「物語の内容を読み取る」の中で、「指定された言葉を書き抜く」設問において、県を1.1ポイントわずかに下回った。</p>	<p>・物語文の学習では、登場人物の気持ちの変化や情景について、想像しながら読み進められるように毎時間の発問を工夫していく。</p> <p>・感じ取ったことや考えたことを言葉にして伝えることができるよう、表現する力を高められるようにする。</p> <p>・問題に対する答え方について指導を重ねていく。</p>